

プラスチックごみおよび食品ロス問題に関する県民意識について

【調査概要】

実施日：令和6年1月18日～1月25日

対象者：県内に居住する18歳以上の県民

サンプル数：2,000人

調査方法：WEBにより調査

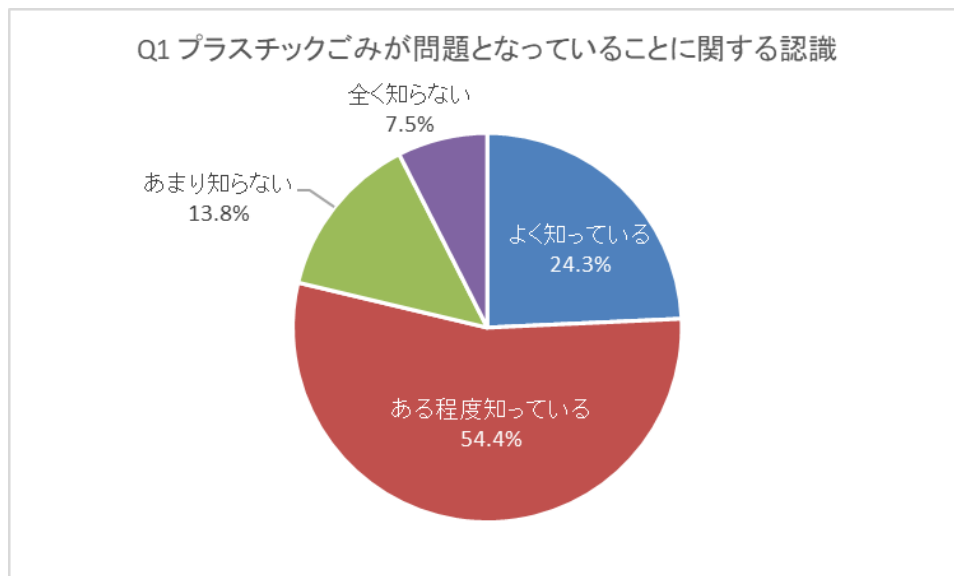
抽出方法：調査委託業者のモニターから無作為に抽出

設問数：6問

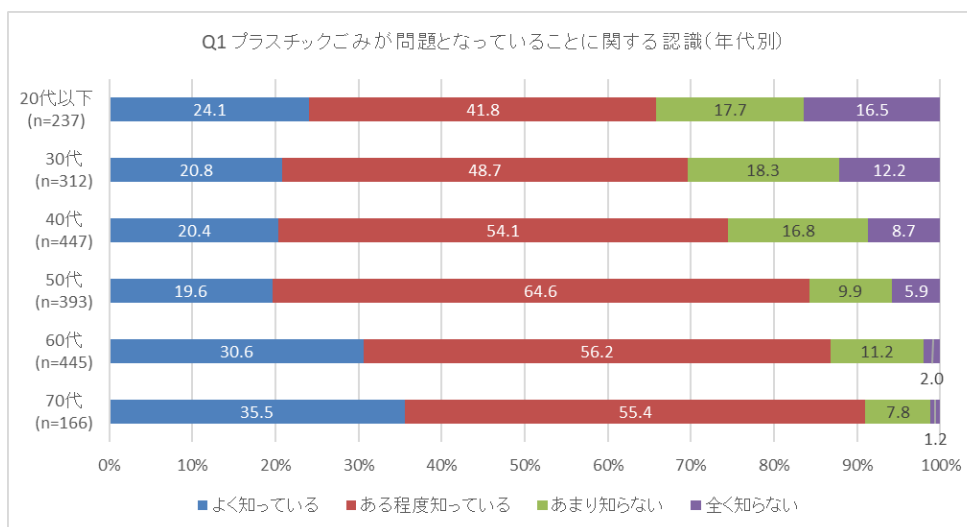
【調査結果】

Q1 あなたは、「プラスチックごみ」が問題となっていることを知っていましたか。

答え 1つ



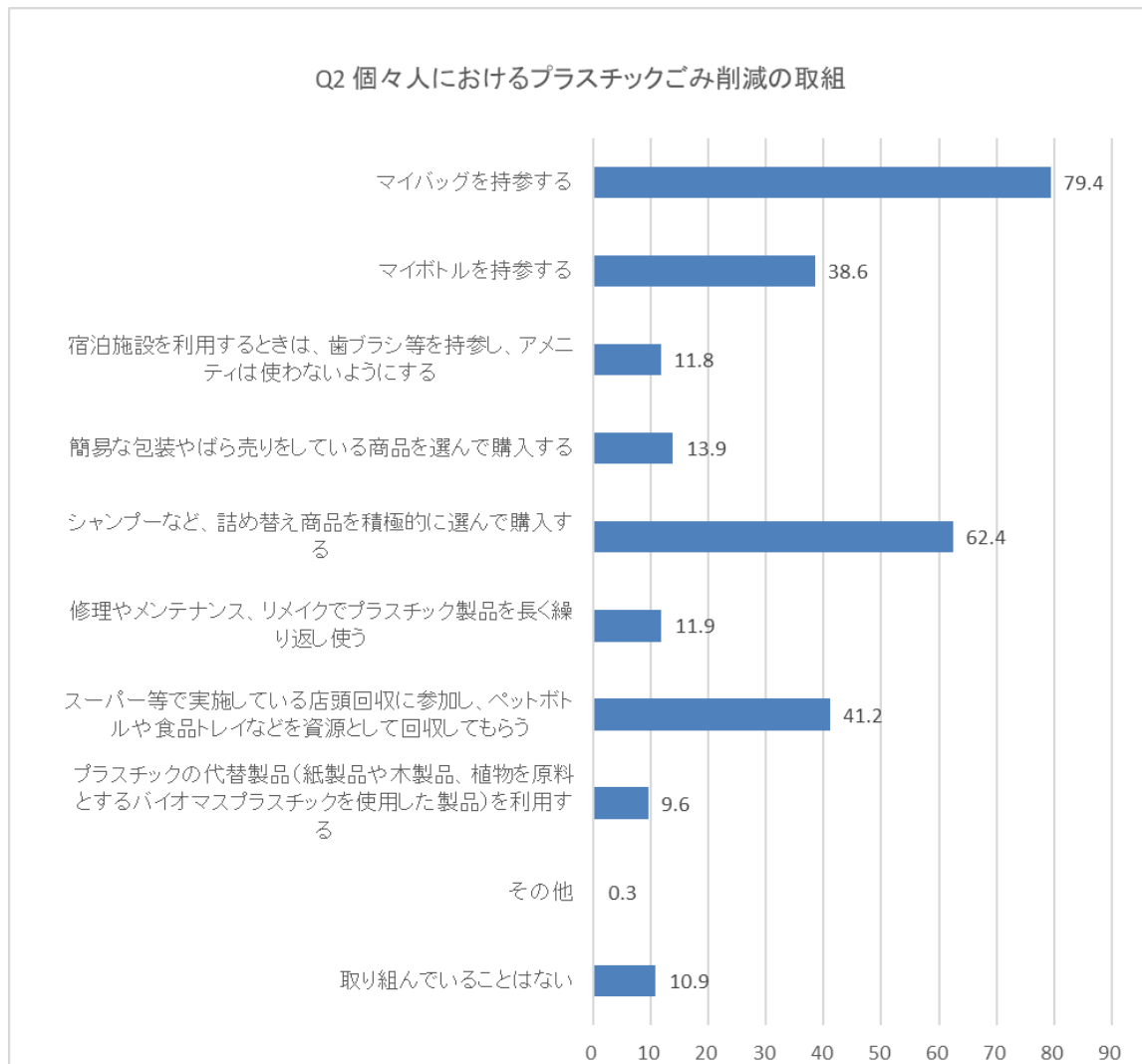
- プラスチックごみの問題を「よく知っている」、「ある程度知っている」と回答した割合は78.7%となり、約8割の県民がプラスチックごみが問題となっていることを認識している結果となった。



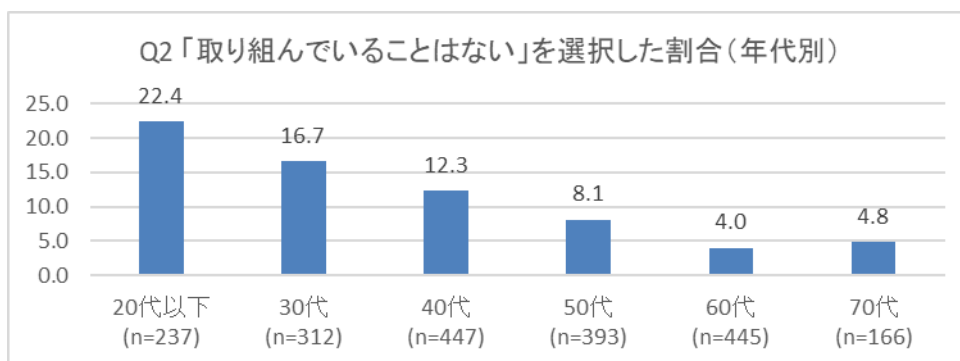
- 年代別に見ると、年代が高くなるにつれて、プラスチックごみ問題の認知度が高くなっている。

Q2 あなたは、「プラスチックごみ」を減らすために取り組んでいることはありますか。

答え いくつでも



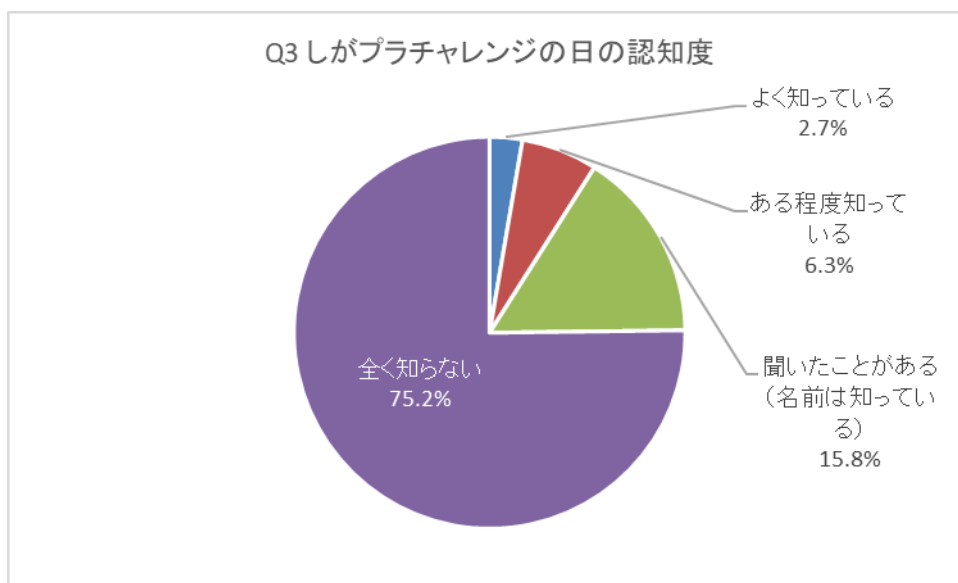
- 個々人におけるプラスチックごみ削減の取組としては、「マイバッグを持参する(79.4%)」、「シャンプーなど、詰め替え商品を積極的に選んで購入する(62.4%)」、「スーパー等で実施している店頭回収に参加し、ペットボトルや食品トレイなどを資源として回収してもらう(41.2%)」、「マイボトルを持参する(38.6%)」の順に多く選択された。



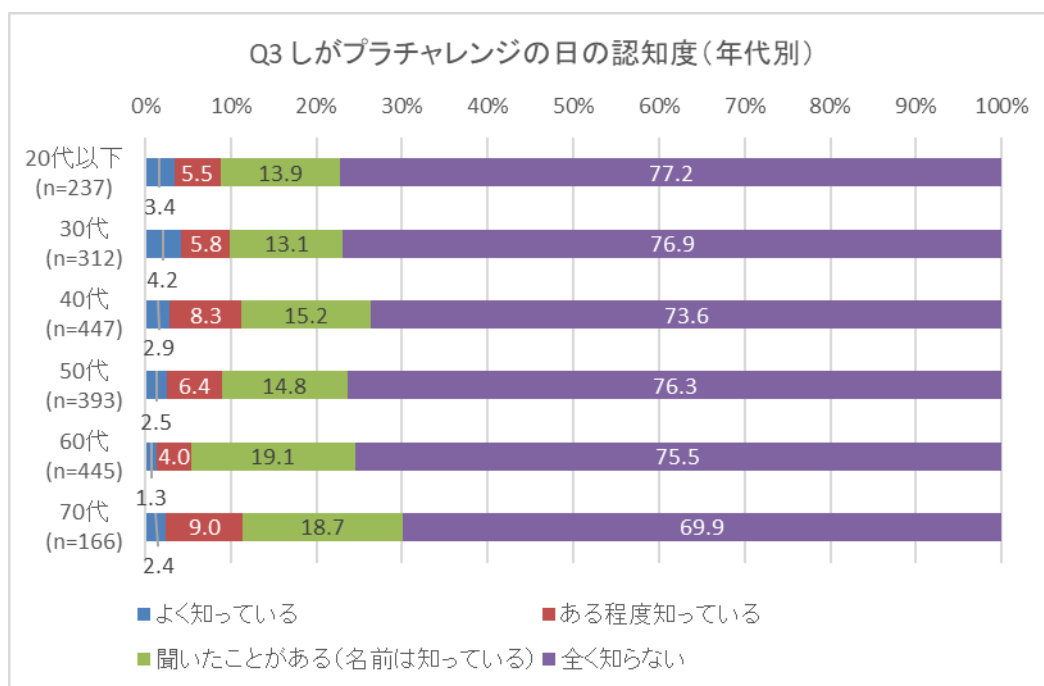
- 「取り組んでいることはない」を選択した割合を年代別に見ると、若い世代で高くなっている。

Q3 あなたは、毎月一日の「しがプラチャレンジの日」を知っていましたか。

答え 1つ



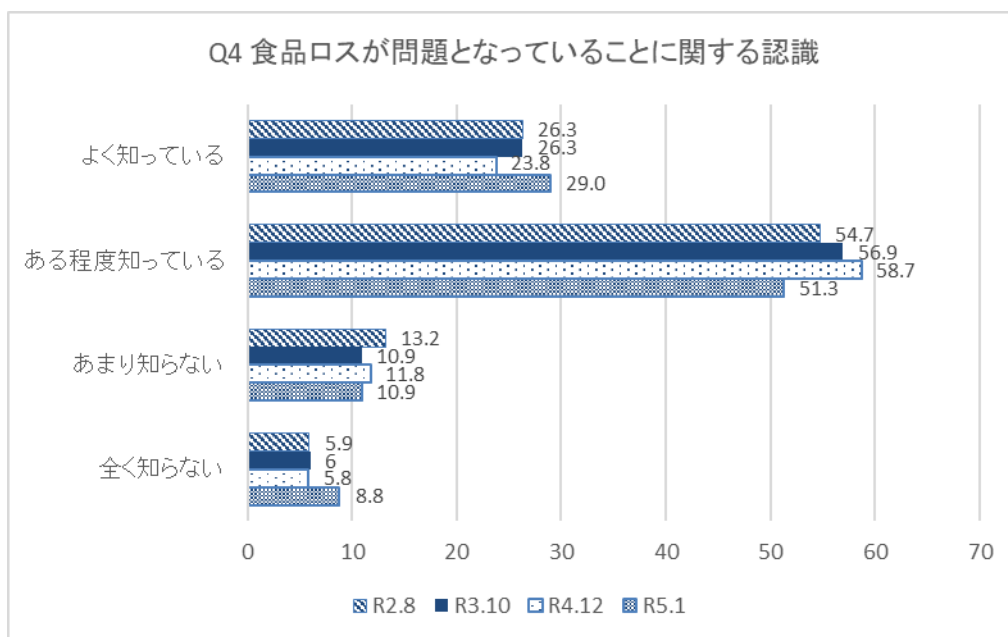
- 「しがプラチャレンジの日」について、「よく知っている」、「ある程度知っている」、「聞いたことがある(名前は知っている)」と回答した割合は24.8%となり、約四人に一人に認知されている結果となった。



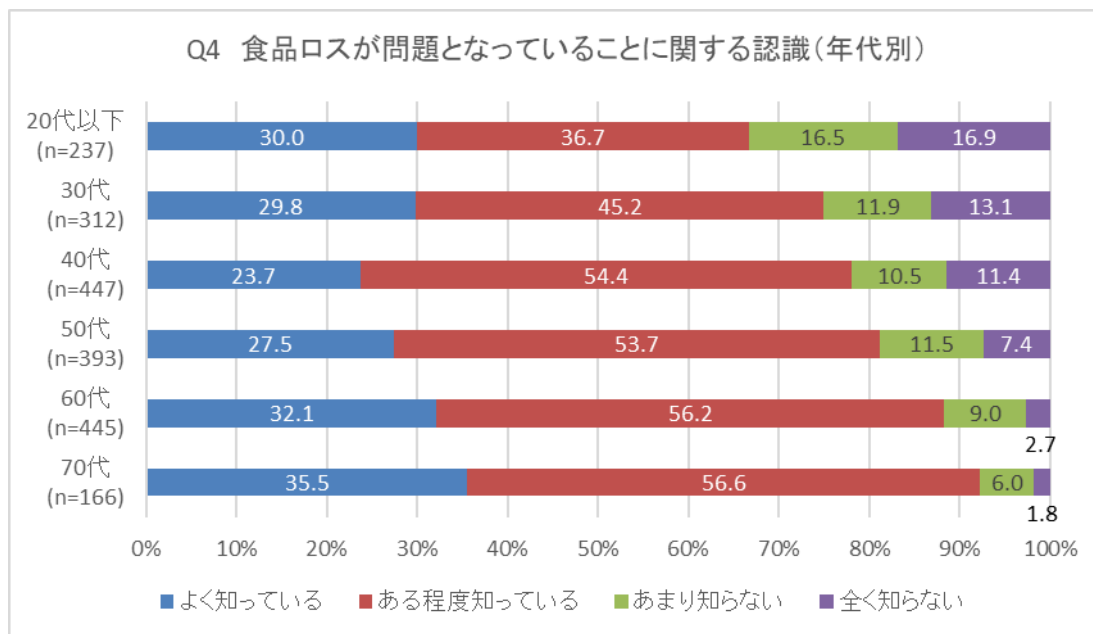
- 年代ごとに大きな差はないものの、40代・70代で認知度が高くなっている。

Q4 あなたは、「食品ロス」が問題となっていることを知っていましたか。

答え 1つ



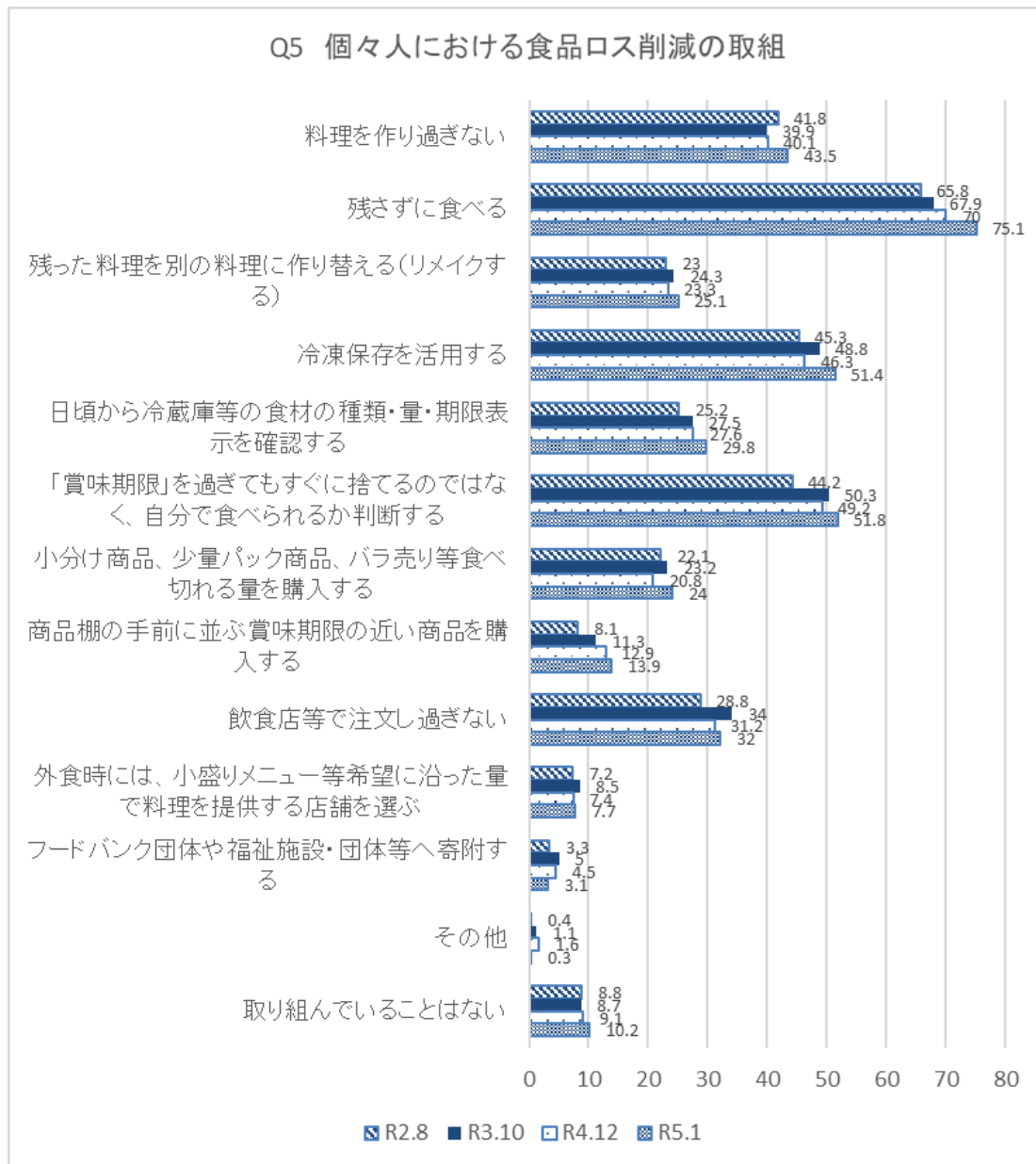
- 食品ロスが問題となっていることに関する認識について、「よく知っている」と答えた人は、前年と比べて5.2ポイント多くなり、「ある程度知っている」と答えた人が前年と比べて7.4ポイント少なくなった。



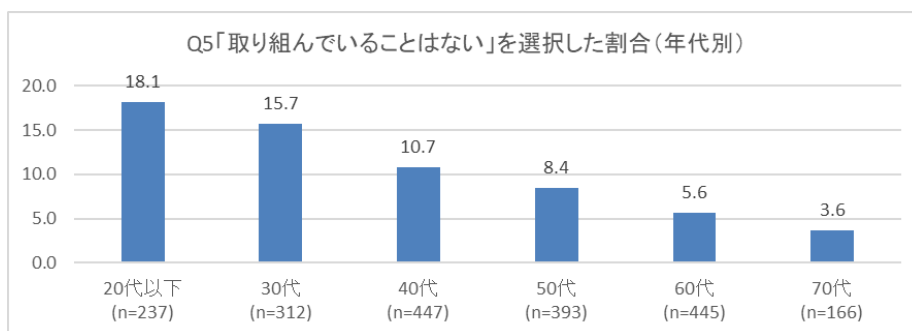
- 年代別に見ると、年代が高くなるにつれて、食品ロス問題の認知度が高くなっている。

Q5 あなたは、「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。

答え いくつでも



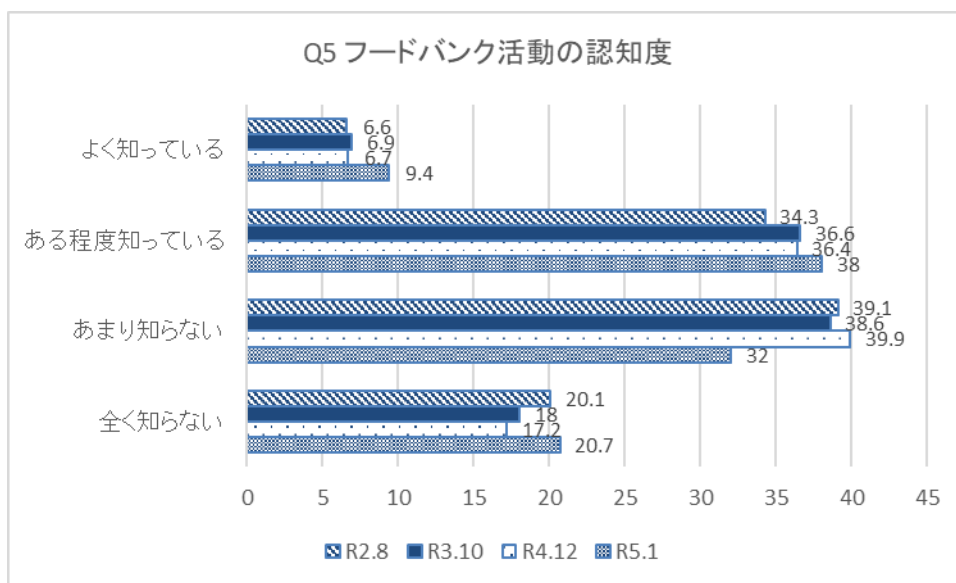
- 個々人における食品ロス削減の取組としては、「残さずに食べる (75.1%)」、「『賞味期限』を過ぎててもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する (51.8%)」、「冷凍保存を活用する (51.4%)」、「料理を作りすぎない (43.5%)」、「飲食店等で注文し過ぎない (32%)」の順に多く選択された。



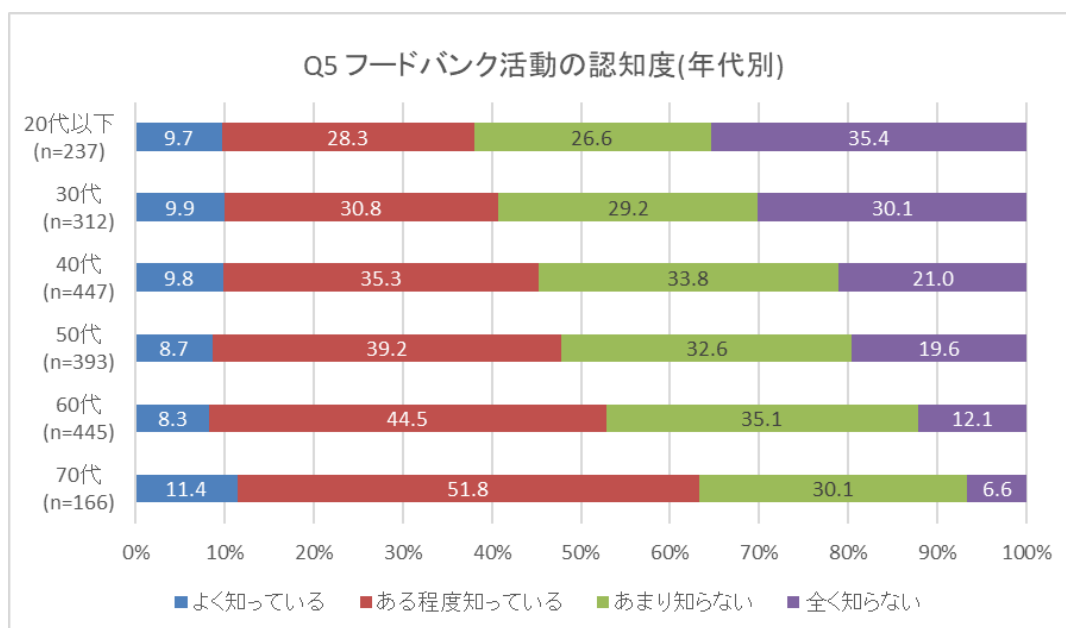
- 「取り組んでいることはない」を選択した割合を年代別に見ると、若い世代で高くなっている。

Q6 あなたは、フードバンク活動を知っていますか。

答え 1つ



- フードバンク活動の認知度について、「よく知っている (9.4%)」、「ある程度知っている (38%)」と回答した割合は **47.4%**となり、約半数の県民がフードバンク活動を認知している結果となった。



- 年代が高くなるにつれて、フードバンク活動の認知度が高くなっている。

(参考) アンケート設問項目

- ・このアンケートでは、あなたの日常生活の中でのごみに関することについてお聞きします。
- ・設問は全6問で、Q. 1～Q. 3まではプラスチックごみに関して、Q. 4～Q. 6までは食品ロスに関する設問です。

F1 あなたの性別は？

01. 男性 02. 女性 03. その他

F2 あなたの年齢は？

01. 18歳から19歳 02. 20歳代 03. 30歳代
04. 40歳代 05. 50歳代 06. 60歳代
07. 70歳代

F3 あなたのお住まいは？

01. 大津市 02. 草津市 03. 守山市
04. 栗東市 05. 野洲市 06. 甲賀市
07. 湖南市 08. 東近江市 09. 近江八幡市
10. 日野町 11. 竜王町 12. 彦根市
13. 愛荘町 14. 多賀町 15. 豊郷町
16. 甲良町 17. 長浜市 18. 米原市
19. 高島市

1. プラスチックごみに関する質問（Q1.～Q3.）

- ・世界では、プラスチックごみが川などを通じて内陸から海に流れ込み、生態系を含めた環境の悪化が問題となっています。
- ・プラスチックごみ問題に対応するため、滋賀県では、毎月一日を「しがプラチャレンジの日」と設定し、県民のみなさんに、日常生活を見つめ直し、プラスチックごみ削減の取組にチャレンジしていただくことを呼びかけています。

Q1. あなたは、「プラスチックごみ」が問題となっていることを知っていましたか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

- 01.よく知っている
02.ある程度知っている
03.あまり知らない
04.全く知らない

Q2. あなたは、「プラスチックごみ」を減らすために取り組んでいることはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

01. マイバッグを持参する
02. マイボトルを持参する
03. 宿泊施設を利用するときは、歯ブラシ等を持参し、アメニティは使わないようにする
04. 簡易な包装やばら売りをしている商品を選んで購入する
05. シャンプーなど、詰め替え商品を積極的に選んで購入する
06. 修理やメンテナンス、リメイクでプラスチック製品を長く繰り返し使う
07. スーパー等で実施している店頭回収に参加し、ペットボトルや食品トレイなどを資源として回収してもらう
08. プラスチックの代替製品(紙製品や木製品、植物を原料とするバイオマスプラスチックを使用した製品)を利用する
09. その他 ()
10. 取り組んでいることはない

Q 3. あなたは、毎月一日の「しがプラチャレンジの日」を知っていましたか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

01. よく知っている
02. ある程度知っている
03. 聞いたことがある (名前は知っている)
04. 全く知らない

2. 食品ロス問題について (Q 4. ~Q 6.)

- ・ 食品ロスとは、家庭や飲食店等で「食べられるのに廃棄される食品」のことです。
- ・ 食品ロスの発生量は、国全体で年間約523万トン（令和3年度推計）と推計され、国民1人当たり1日約114g（お茶碗約1杯分）発生しています。
- ・ 家庭から出る食品ロスは、食べ残し、過剰除去（野菜の皮を厚く剥き過ぎたり、可食部分を過剰に取り除いてしまうこと。）、直接廃棄（賞味期限切れ等により、手つかずのまま廃棄してしまうこと。）が原因と言われています。

Q 4. あなたは、「食品ロス」が問題となっていることを知っていましたか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

01. よく知っている
02. ある程度知っている
03. あまり知らない
04. 全く知らない

Q 5. あなたは、「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

01. 料理を作り過ぎない
02. 残さずに食べる
03. 残った料理を別の料理に作り替える（リメイクする）
04. 冷凍保存を活用する
05. 日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する

- 06.「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する
- 07.小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べ切れる量を購入する
- 08.商品棚の手前に並ぶ賞味期限の近い商品を購入する
- 09.飲食店等で注文し過ぎない
- 10.外食時には、小盛りメニュー等希望に沿った量で料理を提供する店舗を選ぶ
- 11.フードバンク団体や福祉施設・団体等へ寄附する
- 12.その他 ()
- 13.取り組んでいることはない

Q6. あなたは、フードバンク活動を知っていますか。

※フードバンク活動とは、賞味期限内にもかかわらず、様々な理由により食品関連事業者による販売が困難となった食品などの寄付を受けて福祉施設や食べ物に困っている方々に無償で提供する取組です。あてはまるものを1つだけ選んでください。

- 01.よく知っている
- 02.ある程度知っている
- 03.あまり知らない
- 04.全く知らない